

**1. 総合科学部、理工学部、生物資源産業学部、
社会産業理工学研究部、
ポストLED フォトニクス研究所**

(分析項目Ⅰ 研究活動の状況 …………… 4)

(分析項目Ⅱ 研究成果の状況 …………… 4)

分析項目Ⅰ 研究活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

研究活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 大学の研究成果等を社会に還元するため、基礎研究から応用研究の推進、さらに社会実装化を目指して、分野を越えた複数の研究者からなる研究集団（研究クラスター）による研究を強力に支援する制度を創設し、毎年度1億円の予算を重点配分している。
- 科学研究費補助金以外では、科学技術振興機構では産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）「ゲノム編集による遺伝子改変ブタの開発（平成29年～令和元年）」（35,000千円）や戦略的創造研究推進事業（さきがけ）「極限的分子感度・空間分解能・時間分解能を有するイメージング法の創出（平成28年～令和元年）」（40,040千円）、戦略的創造研究推進事業（ERATO）「美濃島知的光シンセサイザプロジェクト」（169,678千円）などの大型の獲得がある。また、新エネルギー・産業技術総合開発機構では「進化工学のおよび分子動力学的手法による新規ゲノム編集システムの創出（平成28年～令和元年）」（109,172千円）などの大型の獲得があった。

分析項目Ⅱ 研究成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

学術的に卓越している研究業績、社会・経済・文化的に卓越している研究業績が、それぞれ、17件、3件との評価を受けており、現況分析単位の目的・規模等を勘案し、相応の質にあると判断した。